

「核兵器廃絶・平和の町宣言」に関する決議

国連は、その第1号決議で、今後核兵器を「国家の軍備」とすることを認めないとして、「原子兵器の廃絶」を誓った。核兵器の廃絶は、人類の共通の願いである。

しかし、今なお世界には2万発以上の核兵器が存在し、また核実験や新たな核兵器の開発が進められている。

一方、日本国内外の世論は核兵器廃絶に向けて高まり、世界の非核地帯は5つのブロック(112ヶ国)に広がっている。

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、この地球上に広島、長崎の惨禍を再びくり返してはならない。核兵器廃絶は、日高川町民の共通の願いでもある。

私たちは、平和を愛する全ての国の人々と共に、真に恒久平和を実現することを決意し、ここに「核兵器廃絶・平和の町」の宣言を行うものである。

以上、決議する。

平成19年12月21日

日高川町議会



消防訓練 始め式

東 西 南 北

平成5年地方分権の推進をうたった国会決議で、「ゆとりと豊かさを実感できる社会」を目標に掲げて15年経過した今、実感できる社会に近づいたとは思えない。

都市と地方の格差が広がり、地方は、特に山間地域は過疎・少子・高齢化が進み、地域の暮しの場で安全・安心が揺らぎを見せている。また、地域によって、個人によって所得の格差も生れている。こうした問題に直面し

た今、地域社会活性化のため、改めてこの問題に取り組む必要があるのではないか。

高齢者向けの保健・医療・福祉サービスの充実、これまでに以上に地域社会における互助の精神を大切にして、地域の育んできた歴史・文化・生活を維持発展させていく、その地域で暮す人々が信頼し合い共感し、支え合うことも大切では。

きめ細かな公共サービスの提供。山間地域の主産業である、林業・農業の振興、就労場の確保等が求められるのではないか。